

令和6年度

北九州市立門司病院  
経営強化プラン

点検・評価

令和8年2月

北九州市

「北九州市立門司病院経営強化プラン」(以下「経営強化プラン」といいます。)は、令和4年3月に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」(以下「ガイドライン」といいます。)に基づき、令和6年3月に、令和6年度から令和9年度までの4年間の計画期間で策定しました。

ガイドラインでは、経営強化プランの実施状況について概ね年1回以上点検・評価を行い、その結果を公表するものとされています。

指定管理者の業務実施状況の評価については、令和7年9月22日に開催の北九州市議会決算特別委員会第2分科会において、「やや優れている」旨の報告を行いました。

加えて、本市所管局において、経営強化プランに掲げた取組の実施状況や数値目標の達成状況については、令和7年8月5日に実施した北九州市立門司病院運営協議会での指定管理者からの報告や指定管理者への聞き取りを行いました。

これらの内容を踏まえ、経営強化プランの実施状況等について点検・評価を実施した結果は、次のとおりです。

## 1 病院の現状

### (1) 病院名

北九州市立門司病院

### (2) 現在の経営形態

指定管理者制度(一部利用料金制)

### (3) 所在地

福岡県北九州市門司区南本町3番1号

### (4) 病床数

一般病床 50床

療養病床 50床

結核病床 55床

合計 155床

### (5) 診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、眼科、放射線科  
(計 14 科目)

## 2 令和6年度門司病院決算状況

### (1) 概要(地方消費税及び地方消費税抜)

本年度の経常収益は、20 億1,820万円で収支計画と比較して、6,320万円増加しました。

このうち医業収益は 20 億878万円で入院患者の増加等により、収支計画と比較して、6,278万円増加しました。

一方、経常費用は 19 億9,832万円で収支計画と比較して、5,432万円増加しました。

経常費用が増加した主な要因は労務単価の上昇に伴い、収支計画と比較して、人件費が3,700万円増加したこと等によるものです。

この結果、経常収支は、1,988万円の黒字となり、収支計画と比較して、黒字額は 888 万円の増加となりました。

### (2) 収支計画と実績(指定管理者による門司病院の収支)

(単位:百万円)

区分	年度	6年度 (収支計画)	6年度 (実績)	比較
経常収益		1,955	2,018	63
	医業収益	1,946	2,009	63
	入院収益	1,408	1,478	70
	外来収益	238	227	▲11
	医業外収益	9	9	0
経常費用		1,944	1,998	54
	医業費用	1,938	1,991	53
	材料費	134	132	▲2
	人件費	1,291	1,328	37
	その他	513	531	18
	医業外費用	6	7	1
経常収支		11	20	9
経常収支比率		100.6%	101.1%	0.6%
修正医業収支比率		91.5%	92.2%	0.7%

※経常収支＝経常収益(医業収益＋医業外収益)－(医業費用＋医業外費用)

※経常収支比率＝経常収益÷経常費用×100

※修正医業収支比率＝(医業収益－指定管理料)÷医業費用×100

### 3 経営強化プランに掲げる医療機能等経営指標に係る数値目標と実績

#### (1) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標と実績

区分	年度	令和6年度 (目標)	令和6年度 (実績)	比較
紹介率	(%)	30.0	28.2	▲1.8
逆紹介率	(%)	82.0	80.3	▲1.7
外来リハ延患者数	(人)	1,608	1,570	▲38
小児リハ延患者数	(人)	1,180	1,627	447
訪問診療延患者数	(人)	958	973	15
患者満足度【外来】	(%)	85.0	86.6	1.6
患者満足度【入院】	(%)	85.0	99.2	14.2

※患者満足度はアンケートにおける「非常に満足」及び「満足」の割合

#### (2) 経営指標に係る数値目標と実績

区分	年度	令和6年度 (目標)	令和6年度 (実績)	比較
病床利用率 結核	(%)	30.0	32.7	2.7
病床利用率 一般・療養	(%)	97.0	96.3	▲0.7
入院延患者数	(人)	41,428	41,688	260
外来延患者数	(人)	32,704	28,482	▲4,222

### 4 総括

門司病院は、北九州市で唯一の結核医療を中心に、地域に必要な医療を提供するとともに、北九州市の地域包括ケアシステムの構築に向け、リハビリテーション提供体制を充実させる役割を担っています。

これらの役割を果たすために必要な数値として「医療機能や医療の質、連携強化等に係る数値目標」を7項目、「経営指標に係る数値目標」として4項目を設定しています。

このうち、「医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標」については、紹介率など3項目で若干目標値を下回っていますが、小児リハ延患者数などは計画を上回るとともに、患者満足度においても外来・入院いずれも目標値を超え、地域において、質の高い医療を提供していると評価できます。

「経営指標に係る数値目標」については、外来延患者数など2項目で目標値を下回っており、外来延患者数については、年々減少傾向にあるものの、入院延患者数

は目標値を上回っています。これは、病床利用率で一般・療養病床がわずかに目標値を下回ったものの、結核病床で目標値を上回ったことによるものです。

また、収支計画との比較においては、経常収支、経常収支比率、修正医業収支比率のいずれも収支計画の数字を超えていることから、安定的な経営を継続できていると評価できます。

これらのことから、門司病院は、優れた管理運営がなされていると評価できるものではありますが、労務単価の上昇による委託料の増加や光熱費の高騰など、経営環境は依然として厳しい状況にあります。

今後も、引き続き市立病院としての役割を果たしつつ、経営強化プランの着実な推進を図り、将来にわたって安定した経営が継続できるよう取り組んでいく必要があります。